

広 監 第 2 7 号
令和 4 年 1 2 月 7 日

広陵町議会議長 吉 村 裕 之 様

広陵町監査委員 赤 銅
同 岡 橋 庄 次



令和 4 年度定期監査の結果について（報告）

地方自治法第 1 9 9 条第 4 項及び第 7 項の規定に基づき、令和 4 年度の定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を別紙のとおり報告します。

令和4年度

監査結果報告書

広陵町監査委員

地方自治法第199条第4項に基づく定期監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

| 監査年月日 | 監査の対象 |
|------------|-----------------------------|
| 令和4年10月18日 | 議事課・環境政策課 |
| 令和4年10月19日 | 図書館・税務課・デジタル推進課 |
| 令和4年10月20日 | 北小学校・広陵中学校・東小学校附属幼稚園・南保育園 |
| 令和4年10月25日 | 住民課・上下水道課・安全安心課 |
| 令和4年10月26日 | 社会福祉課 |
| 令和4年10月27日 | 会計課 |
| 令和4年10月31日 | 生涯学習文化財課 |
| 令和4年11月1日 | 保険年金課・介護福祉課・こども課・認定こども園準備室 |
| 令和4年11月2日 | リレーセンター業務課・けんこう推進課・子育て総合支援課 |
| 令和4年11月7日 | 総合政策課 |
| 令和4年11月9日 | 農業振興課・協働のまちづくり推進課・産業総合支援課 |
| 令和4年11月10日 | スポーツ振興課・中央公民館・都市整備課・用地開発課 |
| 令和4年11月14日 | 秘書人事課 |
| 令和4年11月15日 | 教育総務課・学校支援課 |
| 令和4年11月17日 | 広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会・総務課 |

2 監査の場所

広陵町役場 3階第1会議室及び各出先機関

3 監査の方法

監査対象の各課（かい）において、令和4年度における事務事業及び予算の執行状況について提出された監査資料に基づき監査を実施した。

併せて、関係書類及び帳簿等の処理方法について審査を実施するとともに、担当課（かい）長及び担当者から事情聴取を行った。

4 監査の結果

令和4年度上半期の予算の執行については、各部署において適正かつ効率的に執行されている。ただ、事務事業の進捗状況において遅れが見受けられる部署もあるので、年度内の計画的な予算執行をお願いします。物品の購入費、委託料及び工事請負費については、入札で競争原理を働かせることにより節減効果が現れている。

団体補助金について、年度ごとの精算に伴う返戻や、団体運営補助から事業費補助へと転換が図られるなど適正な補助金管理に努めていただいているが、一部で多額の次年度繰越金が発生している団体や担当課において決算状況を正確に把握されていない団体もあることから今後も適正な補助金管理を意識して対応されたい。

職員については、少ない職員数で運営している関係上、どの部署も厳しい人数で職務に当たっている。新規採用職員、再任用職員、会計年度任用職員の適正な配置による行政サービスの維持、向上を要望する。一方で、職員の勤務状況の改善やワークライフ・バランスの実現に向けて努力されたい。

予算の執行にあたっては事務事業の見直しを積極的に進め、常に費用対効果を考慮し、徹底した節減に取り組まされたい。

議事課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

議会事務局として、議会が円滑に運営できるよう議事運営、議員活動に必要な支援調査、議会活動の報告などを行っておられる。

新型コロナウイルス感染症による感染状況を踏まえ、議会報告会の開催については開催時期を慎重に検討されている様子が窺え、下半期に開催予定とのことである。

前年度の課題への対応

議会報告会のオンライン開催、出張開催の録画配信などコロナ禍でも工夫して対応されていることが窺える。

今後も、本議会の録画配信にかかるアクセス状況などの把握とライブ配信にかかる費用対効果の検討を行うとともに、議会だより、ホームページ、議会報告会（オンライン含む）など様々なツールを活用し、町民の皆さまに議会を身近に感じていただくよう努めていきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

環境政策課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

空家について、追跡監視、補助金交付事務などその対策に苦慮されていることが窺える。
相談窓口の運営を委託しているNPO法人とも連携して早期の対応に着手することをはじめ、空家に対する課税関係の見直しなど引き続き空家対策に有効な方策を検討されたい。

山辺・県北西部広域環境衛生組合及びまほろば環境衛生組合については、概ね順調に推移していると認められる。
引き続き、関係市町村等との連携を図りながら事業を円滑に進められたい。

前年度の課題

前年度の課題については、今年度の課題とも直結していることが多く、即効性のある課題対応は困難であると思われるが、概ね順調な進捗が認められ、上欄で記載したとおり、引き続き有効な対策の検討、事業の円滑な推進を図られたい。

予算執行状況

概ね適切に執行されていた。

その他

次年度繰越額が多額となっている団体の補助金について精算等の対応が必要であること、及び当該団体の所管について他課との協議が必要であることを指摘した。

図書館

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

新刊本の購入をはじめ、リクエストに応えるための他図書館とのネットワークによる借受けなど利用者のニーズに応じた運営がなされている。
また、新サービスとしてセルフ貸出や利用者バーコードのスマホ画面表示など利用者の利便性確保に努められている。

25周年記念事業をきっかけとし、入館者数及び貸出冊数の増に配慮するとともに、学校図書館、民間施設との連携により、本を身近なところへ届ける取組にも注力願いたい。

前年度の課題への対応

コロナ対応を実施しながらイベントを実施し、マルシェ開催日にはコロナ前と同様の来館者を得るなどの成果が出ている。

施設の長期利用のための総合管理委託により、専門的な観点での管理・修繕を実施されており、引き続き施設のメンテナンスにも注力願いたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

税務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和3年度から採用した確定申告時の事前予約制を継続して申告会場内の混雑緩和を図り、また課員全員が事務対応できるように勉強会を実施するなどスムーズな事務執行のための取組をされている。

課税内容をチェックする時間の確保、土地家屋の評価に関する知識習得に努めること、新たな軽JNKSというシステムの運用マニュアル作成などを課題として実行されていることが窺える。

前年度の課題への対応

確定申告時の事前予約制は円滑に実施できていることが窺える。

収納事務について、県職員の随時派遣協定によって困難事案の解決にも努め、預金調査の電子照会を導入するなど事務の効率化が図られている。
現在、件数の多い南都銀行が未加入とのことであるが、同行も早期に加入見込みとのことで一層の効率化が期待できる。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

「広陵町たばこ組合」への補助金については、令和4年4月1日に補助金交付要綱を制定したことから、当該要綱で規定する補助対象経費を踏まえて適正な補助金管理をお願いしたい。

デジタル推進課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

DXの推進に当たり、庁内若手有志職員による推進チームを結成して課題抽出するなど、来年度のDX推進計画策定に向けて始動されている。

令和7年度までの基幹システムの標準化対応の準備については、本町のみならず、奈良県基幹システム共同推進部会の部会長としても対応されている。

今年度から広報・広聴も所管事務に加わったため、アクセシビリティを考慮したホームページの運用について対応されている。

前年度の課題への対応

行政手続きのオンライン化として、マイナンバーカードを使用する「ぴったりサービス」の利用拡充に必須となるマイナンバーカードの普及が伸び悩んでおり、マイナンバーカード所管課との連携による普及啓発の必要性を感じる一方で、抵抗ある住民の声を踏まえると、ぴったりサービスを利用すべきサービスと受付のみで完了するサービスの区分が必要であるとの検討課題も有している。

広報・広聴に関しては、「見やすさ」、「探しやすさ」向上のためのデザイン検討、広報紙の自治会未加入者への配布について引き続き検討課題となっている。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

北小学校

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、3年ぶりに水泳学習を実施するなどウィズコロナの時代に即した対応をされていることが窺えた。

これまで2年に1回実施してきた備品管理について、職員の入れ替わりによる確認漏れをなくし、備品管理の一層の適正化を図るため今後は毎年実施することを検討されている。

前年度の課題への対応

「自己申告評価シート」の活用により、全教職員が各自の果たすべき役割を再認識する中で、生徒指導の力量を高めておられる。

また、教職員の共通理解、共通実践によりチーム一丸となって教育活動を推進することで、児童の問題行動や保護者対応は日々減少しているとのことであり、今後も教職員間の連携に努めていただきたい。

クロームブックの活用に関して、研修や教育実践を重ね、児童に端末に記録させるのか、紙に書かせるのか、授業者が黒板に板書するのか大型モニターに映すのか等、教育効果を考慮したデジタルの活用を進められている。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

建物の老朽化により、毎年修繕を要する箇所が出てきているが、きちんと優先順位をつけて要望されていることが窺えた。

広陵中学校

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

光熱費の高騰により、予算の枯渇が懸念されるため、不要箇所のこまめな消灯、勤務開始までの時間及び昼休み時間の校内全館消灯及びなるべく早い退勤の奨励により、光熱費の節減に努めておられているほか、裏紙利用やペーパーレス会議等による消耗品費の節減にも努めておられる。引き続き経費節減に向けた取組を継続されたい。

設備や建物の老朽化による故障や雨漏り等が頻発してきている。優先順位をつけた計画的な修繕に努めていただきたい。

前年度の課題への対応

各種行事については分散実施や参加人数、場所の調整により再開されている行事もある。今後も開催の意義を考慮し、対策を講じることで可能な行事については、積極的に再開していただきたい。

クロームブックの活用については、生徒用の機器の故障が多く、修理中は教員用を貸し出しせざるを得ないため教員が使用できなくなるという問題を抱えておられた。

また、クロームブックの修理代金は、保護者負担となるところ、ご納得いただけない保護者もおられるなど、対応に苦慮されていることが窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

不登校生徒を対象に下校時間後に教室を確保して授業を行うなど、それぞれのケースに応じた柔軟な対応をしておられ、不登校生徒への対応に注力されている。引き続き、このような取組を継続されたい。

東小学校附属幼稚園

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

新型コロナウイルスの感染リスクは依然高く、職員やその家族が感染した場合の園運営に苦慮されておられる。同時期に複数の職員が勤務できなくなると、事務や運営面の作業が進まなくなることがあり、人員不足を感じておられた。

新たに簡易プールを購入して、密を避けてプール指導を実施するなど、行事の再開に向けて対策や工夫を深く検討されており、行事を積極的に再開しようとする姿勢が窺えた。

前年度の課題への対応

保護者連絡網について、丁寧に説明を行い保護者の理解を得てスムーズに運用されている。引き続き、保護者との連携を密にした園運営を図りたい。

故障や老朽化で使用できなくなる設備が出てきている。型番が古いため、部品がなく修繕できない事例も出ている。
認定こども園化を含む今後の施設利用のあり方を踏まえ、備品の新規購入や修繕の必要性を慎重に検討して対応していただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

園長以外に管理職がおらず、園長不在時の対応に苦慮されていることが窺えた。

南保育園

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

行事については、保護者の参加人数の制限、2部制による実施などにより、徐々に再開できているものもある。

前年度の課題への対応

該当なし

予算執行状況

概ね適正に執行されていた。
以後の支出予定がないものを不用額として残すことのないよう減額補正を実施することについて認識がなかったため、対象となる科目の額にもよるが当該考え方をもちて予算執行していただくよう申し入れた。

その他

園長以外に管理職がおらず、園長不在時の対応に苦慮されていることが窺えた。

住民課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

戸籍や住民基本台帳の届け出件数としては例年どおりであり、目立った増減はないものの、昨今はマイナンバー関連の申請等で窓口が混雑することが多いとのことであった。マイナンバー関連の申請等に関しては、月1回の休日対応なども行い住民サービスの向上に努められているとのことであり、忙しい中でも親切かつ正確な対応を継続していただきたい。

係間のローテーションを行うことで、どの職員も課の所管業務すべての対応ができるように配慮しておられ、適正な事務執行を第一にしつつも、業務の効率化に努めている様子が窺えた。

前年度の課題への対応

戸籍の届出については、課内での目標として3営業日までに決裁を終えるよう効率よく業務を行うことに努められているが、実際には窓口対応に忙殺されることや、複数人の目視による最終確認に時間を要し、3営業日以内に完了しないことも多々あるとのことであった。引き続き、窓口業務の事務の効率化を進めてすべての届出につき目標の3営業日までの決裁を実現していただきたい。

本町のマイナンバーカード普及率は、令和4年8月末時点で42%程度と県内においても低い数値となっており、事業所訪問による従業員向けの出張申請受付を行うなどマイナンバーカードの普及促進に努められているが、一層普及促進に努めていただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

上下水道課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

8月までに17件の給水停止執行を行い、うち9件については全額及び部分納付もしくは支払誓約により解除するなど給水停止による滞納改善の効果が窺えた。残り8件については無断転居等居住実態がないため、給水停止執行を継続中とのことであるが、今後時効等による不能欠損等の手続きにて適切に対処されたい。

下水道料金の値上げについては、今年度中に上下水道事業経営審議会を開催し、審議を予定しておられる。コロナ禍が収まらない現下の状況を見極めながら、適切な改定時期を判断し、実施にあたっては町民等への丁寧な周知説明に努められたい。

前年度の課題への対応

令和3年度の濁水対策事業について、人員不足を理由として未執行となっているとのことであるが、主要事業にも挙げている事業であるため人員不足を理由とする未執行は不適切な対応であることを指摘した。

令和4年度の同事業についても現段階では未着手であるが、下半期での実施を計画し着手しているとのことであり、計画的な事業執行に努められたい。

県域水道一体化について、企業団への参加団体が定まらず、先行き不透明な部分もあるとのことであるが、県の方針が定まりしだい、経過について町ホームページに掲載するなど、町民の皆さまに周知できるよう準備を進められたい。

予算執行状況

概ね適切に執行されていた。

その他

短期間で異動となる職員が多く、人員配置に苦慮されていることが窺えた。

安全安心課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度も区役員、消防団、協定締結業者等と連携して地域防災訓練を実施し、職員防災訓練としてAED訓練及びシェイクアウト訓練を実施するなど、防災意識の醸成に努められている。

避難行動要支援者支援プランについては、今年度も同意者名簿の更新が済み、各団体に提供されており、地域との連携を深めておられる。

交通安全教室については、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢を踏まえて開催時期等を決定し、消費生活相談についても毎月広報で事例を用いた記事の掲載をするなどウィズコロナに対応した啓発に努められていることが窺えた。

前年度の課題への対応

感震ブレーカーについては、令和3年度の設置調査を75件実施したものの、補助金の申請は47件にとどまったとのことであった。半導体不足等の社会情勢の影響もあり、想定よりも数が伸びなかったものと分析されている。

交通安全ボランティアについては、できるだけ満遍なく各地区から参加いただけるように啓発を実施されたい。

ブロック塀など、各地区の危険な場所については、完全には把握されていないのが現状とのことである。地域担当職員を通じて、地区防災計画の作成及び完成した計画を町のハザードマップに反映させるなど、状況の把握、周知に努められたい。

予算執行状況

コロナ禍の影響により令和3年度予算にて不用額が多く見られるため、金額、性質にもよるが、補正予算での減額対応が可能な分については検討されたい。

その他

団体への補助金について、一定の補助金額となっており、支出内訳が不透明な部分があるので、補助団体の決算審査の際など適切に執行管理されたい。

社会福祉課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

避難行動要支援者名簿について、今年度の更新は済んでおられる。
昨年度から追加となった要支援者や昨年度の不同意者を対象に、「避難行動要支援者名簿情報提供同意書」を送付し、情報提供への同意を求めるなど災害への備えを進めるとともに、区長・自治会長との情報共有を行っておられる。

地域生活支援拠点（障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた居住支援の機能をもつ場所や体制）の令和5年度からの稼働に向けて、近隣市町村と連携してプロジェクトチームを発足し、日々、事業所を訪問して事業の趣旨説明を行い協力を求めている。

前年度の課題への対応

ESCO事業（空調・照明設備等の省エネ化更新）およびボイラー更新は滞りなく完了されている。

コロナ禍により、障がい者の理解促進につながる啓発の場が少なくなっているが、今後は一般市民も参加する全体会にて各事業所の授産品ブースを設置して関心を持っていただく場を設ける計画とされている。
今後も場所・方法を工夫して啓発を継続されたい。

障害者手帳を取得されているがサービスを利用されていない対象者に対して、直接連絡してサービスの紹介を行うなど、必要な方にサービスが届くよう努められている様子が窺えた。

予算執行状況

コロナ禍による戦没者追悼式の規模縮小により、令和3年度分で不用額が多く見られるため、金額、性質にもよるが、補正予算での減額対応が可能な分については検討されたい。

その他

本町においては、他市町村と比べ、障がい福祉事業所への事務委託が少ない。
各課に委託可能な業務がないか投げかけていただくようお願いする。

団体補助金調書について、次期繰越金の表記の統一などを行い、多額の繰越金が生じている団体への補助金については精算するなど適正な補助金執行に努められたい。なお、補助金精算と決算書類で額の不一致が見られる団体があったことから、決算確定時期を考慮した補助金精算のあり方について団体と協議されたい。

会計課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

前年度に引き続き、事務執行について遅滞及び遺漏なく適切に処理しておられる。

指定金融機関検査について、昨年度から南都銀行に対して実施され、適切な事務執行がなされていることを確認されたとのことである。今後も指定金融機関調査により適切な事務執行を確認されたい。

会計課所管の例規について、今の時代にそぐわないものや、改正すべき内容が改正されていないものがあるため、他市町村を参考に法制係と連携して例規の整備を進めていただきたい。

前年度の課題への対応

振込用紙を使用した支払方法を、可能な限りデータ伝送による支払に変更することで、支払事務の効率化を進めておられる。

データ伝送の支払を月2回から月3回に増やしたり、支払伝票の提出期限を1日前倒しにし、期日を厳格化することで、余裕を持って勤務時間内に提出確認できるようになったとのことであり、事務の効率化及び職員負担軽減につながったことが窺えた。

備品管理については、過去3年間に購入した備品について確認したとのことであるが、管理方法や基準の整理の必要性が感じられるため、今回の調査以前に購入し、現存する備品も含めて整理の上、適正に管理されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

担当課の伝票誤りによる誤振込が1件あったため、会計課としてチェック体制の強化に努めていただくようお願いする。

生涯学習文化財課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

世代間交流事業については多くの年代層が集まることで、感染リスクが高まることから社会教育委員会にて中止を決定されるなど、コロナ禍の影響が窺えた。

箸尾準工業地区の開発により、出土品が多く発掘されている現状を踏まえ、遺物収納箱の増設を行うなど、保管状況の改善に努めておられる。

文化祭についてはウィズコロナでの開催方法を検討し、実施に向けて進めておられる。一人あたりの出展可能数を減らすなど、感染症への対策を徹底して開催されたい。また、今回の実施結果をフィードバックし、今後の開催方法を検討していただきたい。

前年度の課題への対応

成人式については前回に引き続き、2部制での実施を予定しておられる。前回の反省点を踏まえ、タイムスケジュールの調整を行い実施していただきたい。

新たな取組として、町内業者のプロモーション及び新成人のシビックプライドの醸成を目的に町内の企業を対象に新成人への記念品の提供を呼びかけることを予定されている。

各事業におけるアンケートを実施する際にはインターネットフォームを活用して実施されるなど、事務負担の軽減及びコロナ禍に対応した方法で事業実施されていることが窺えた。

予算執行状況

団体への補助金について補助額を上回る次年度繰越額が見られる団体が多くあり、補助金の精算や、事業を実施する団体には運営補助ではなく事業補助として事業毎の精算を求めるようにするなど補助金体系の見直し検討を求めた。

その他

住んでいる地域を知ることで町に対する愛着も湧くため、史跡等の周知に併せて、町の歴史や、成り立ち等についても周知していただくよう依頼した。

保険年金課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

新型コロナウイルス感染症対応としての保険税の減免措置については今年度は落ちついてきているとのこと。

しかし、7月に業務が集中しており、また新型コロナウイルス感染症対策としての保険税の減免措置、傷病手当金の対応業務や、県統一サーバーが18時で稼働終了となるため当日対応の積み残し業務が発生するなど業務過多の状況に陥る様子が窺えた。

また、今年度から本町の独自措置である子ども医療費助成事業の対象年齢拡大により、新しい事務が発生している。

前年度の課題への対応

県単位化に伴う令和6年度からの保険料水準の統一に向けて、県の示す税率等を確認しながら条例改正が必要となる。

県単位化により町独自の減免制度等も統一化されるので、周知方法を検討いただきたい。

今年度から町独自で高額医療費支給事務の簡素化を開始されており、住民サービスの向上に向けて積極的に取り組まれていることが窺える。

職員により年金制度の理解状況が異なるとのことであり、引き続き職員の窓口対応による知識習得等に努めるとともに町民の皆さまに対する制度・手続の周知等にも努められたい。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

特になし。

介護福祉課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

介護予防について、住民主体の通いの場の増加により、介護予防・健康づくりに参加される住民は増加傾向にある。引き続き活動の輪を広げていくための周知をしていただくとともに指導する側の担い手の養成にも注力いただきたい。地域のつながりの醸成にも繋がるため、集いの場の提供を継続されたい。

介護と医療の連携を図るための入退院調整のルールづくりや、会議を開催するなど、関係者が連携することで、利用者が安心できるような体制づくりに努めている様子が窺えた。

前年度の課題への対応

入退院調整マニュアルについては、昨年病院の使用率が低いとのことであったが、現在使用率100%とのことであり、努力が実ったものと考えられる。今後はケアマネジャーの使用率も100%を目指して周知を行い、円滑な入退院対応の定着に努められたい。

地域包括ケアシステムに関しては、広陵ささえ愛の協議体定例会は未開催とのことであるが、通いの場などの地域の活動や支えあいについては勉強会や住民ディスカッションを開催しているとのことであり、引き続き、社会福祉協議会との協力、認知症初期集中支援チームの活用による医療や介護支援につなげる対応に努められたい。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

団体補助に関して、収支差額と次年度繰越額の不一致や剰余金積立てが行われていること及びその根拠等について把握されていないなどの例があったため、補助金交付団体の決算状況については的確に把握されるよう指摘した。

こども課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

幼保無償化により、保育所利用ニーズは増えている。待機児童も発生している状態である。今後の受け皿の拡大について検討されたい。

学童保育についても、現状定員を上回る登録者数となっている。今後さらに希望者は増えていく見込みであることから、施設の確保を急務とされており、近隣施設の調査・検討に取り組まれていることが窺えた。

前年度の課題への対応

令和4年度においては年度当初から現在まで保育園待機児童が発生している。こども園の開園により問題の解消を見込んでいたが、実際は0～2歳児のニーズが大きくなっており、この年齢のクラスについては待機児童が発生する可能性があるとのことである。待機児童ゼロのための方策を検討されたい。

一時保育のニーズも増えてきている。利用目的が多様になってきており、枠に限りがあるため、必要な方が使いたくても使えないケースが発生しているため、利用基準等についても検討されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

認定こども園準備室

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

幼稚園からこども園に移られる在園児の負担を軽減するため、関係機関連絡会議の開催で連絡を密にしていく方針を立てられている。

広陵東小学校区、真美ヶ丘第一小学校区、真美ヶ丘第二小学校区の子ども支援施設の整備基本計画について、12月にパブリックコメントの実施を予定するなど令和5年1月の策定に向けて諸手続きを進められている。

前年度の課題への対応

平尾公民館の解体工事、新平尾公民館の着工などについて順調に事業執行されている。

スケジュールに余裕はないと思われるが、適切に事業が進められるよう進捗管理願いたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

リレーセンター業務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和4年3月19日からリレーセンターに名称を変更して、ごみの中継施設として管理されており、順調に運営されていることが窺えた。

家庭用生ごみ処理機等設置費補助金について、周知を継続し、ごみの減量化及び資源化につなげていただきたい。

エコセンターの廃止について県と協議されておられる。跡地については、町としても地元としても活用需要があると思われる。活用方法を検討されたい。

前年度の課題への対応

操業停止に向けて、適切な運営管理に努めておられたことが窺えた。

今年度から容器包装プラスチック及びペットボトルの処理を民間施設に委託しており、搬出量は増加傾向にあるが、容器包装リサイクル協会による調査で引き取り評価が下がらないよう処理状況について注視されたい。

クリーンセンター操業停止後、新清掃施設稼働までの間はその状況に応じてごみの収集方法、分別等について住民目線で今までと変わることがあると思われるため、関係機関との協議及び住民への周知により、住民に負担のないようにしていただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

けんこう推進課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

乳幼児健康診査事業について高い受診率であり、未受診者についても連絡・訪問により、周知説明を行っておられ、全ての親子に必要な支援を提供することに対する高い意識が窺えた。

乳幼児健康診査の機会以外にもオンラインで相談の場を提供したり、離乳食教室についても動画配信を行うなどコロナ禍においても施策に工夫を加え、積極的に取り組まれておられる。

前年度の課題への対応

組織改革により、こども相談に係る事務の移管があったが、各課連携して切れ目のない子育て支援体制を維持していただきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について、業務の煩雑さ及び事務量が大いものとなっているほか、ワクチンの種類が増えたことで対応が複雑化しており、兼務職員だけで一連の作業を実施している現状の体制に苦慮しておられることが窺えた。

広陵町がん予防推進員養成事業については、安定して推進員の人員が確保できており、畿央大学祭での啓発や役場職員向けに啓発を行うなど活躍の幅を広げておられる。引き続き、推進員との連携を図り、啓発活動に取り組まれない。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

職員に保健指導を行い、経過をHPで公表する「脱メタボチャレンジ」について、職員の保健指導のスキルアップ、健康啓発を兼ねた取組であるので、引き続き継続するとともに、町民対象事業へと発展させることについても検討願いたい。

子育て総合支援課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

なかよし広場事業については感染症対策を徹底しながら、完全予約制の廃止等、条件を緩和して実施していただける。子育て親子の交流の場として役割を担っているので、引き続き感染症等の情勢と利便性とのバランスを考慮しながら継続されたい。

住民や児童相談所等からの情報提供により虐待に係る初期調査を行ったり、関係機関と連携しながら支援を行ったり、見守りを継続されている。住民基本台帳システム、全国情報共有システムとの連携が可能なシステムの導入を検討するなど、情報共有の効果的な手法を検討されていることが窺えた。

前年度の課題への対応

今年度より子育て家庭総合相談センターを開設し、町内全ての子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、専門の職員が相談に応じ、また関係機関との連絡調整を行うことで不安を抱える子育て家庭の支援を行っていただける。

児童福祉分野を含め他の関連事業と連携して、より効果のある運用ができないか検討されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

総合政策課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

町政説明会について、事前申込制にして申込方法をQRコードスキャンによるオンライン申込にしたことにより、事務の効率化及び記念品の過剰を抑制されるなど、積極的にデジタル活用による事務の効率化等を図っておられる様子が窺えた。

デジタル化についても導入及び維持コストを勘案し、デジタル化すべきもの、そうでないものを思慮しながら事業を構築、検討されておられる。

今年度から導入している行政評価制度について、事業費のみならず、人件費を含めたフルコストでの事業実施の必要性を評価できるものとなっている。職員への行政評価の必要性、評価方法等の定着に努めていただきたい。

前年度の課題への対応

広陵元気号の利用者数については、南部支援の再編により、大きく増加傾向にある。

今後もワークショップやアンケートで住民の声を踏まえながら、既存交通事業者とのバランスを取りながら、より多くの方に便利なものとなるよう研究されたい。

庁舎空調更新事業については、ESCO事業により国からの補助を活用しながら、専門的知見を有する民間事業者による設計・施工と管理を行わせることにより工期の短縮や費用の抑制、職員の事務負担減及びより適切な施設管理に繋げておられる。

引き続きコスト面、効率面を意識しながら、最善な事業方法について検討しながら事業企画していただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

政策実現には他課との連携が必須であり、連携他課と総合計画を念頭に置いた高い意識共有を図れるようアプローチされたい。

農業振興課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

農業塾の実習について現状は平日に開催しているが、土日の開催や、グループ化等により参加ハードルを下げて塾生に長く続けていただけるように方策を検討されたい。

単独の農家では高額な機械の維持等、続けていくのが難しい現状にある。組織化により農業機械の共有を主導するなど、町内農業の存続のためのサポートに取り組みたい。

前年度の課題への対応

遊休農地はもとより、遊休農地に当たらないまでも、草刈りだけして長期間耕作されていないような土地についても、マッチングを進めていただくとともに、農地の集積集約を図るなど、町農業の振興に努められたい。

農業に係る地域特有の課題や、高齢化の問題について地域毎に話し合いを行い、支援制度及び課題への対策や担い手の確保を地元と密に情報共有を行いながら検討されたい。

町内農業を存続するうえでは、いかに担い手を見つけていくかが最大の課題となる。引き続き、農業を始めるきっかけづくりや後継者の育成支援やマッチングに努められたい。個人で新しく農業を始めるのはハードルが高いため、複数人で土地利用できる仕組みづくりや、スマート農業の活用推進で担い手の間口を広げるための方策を検討されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

協働のまちづくり推進課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

人口減少等による税収減や少子高齢化による扶助費の増大から、将来的には公共サービスの維持が困難であり、住民との協働が不可欠である。

住民への説明については言葉だけでなく、財政面の数字を示すなど協働の必要性がより伝わるよう対応されたい。

前年度の課題への対応

今年度、地域担当職員を活用して地域の課題や良いところを聞き取りし、コミュニティカルテの更新を行っておられる。

聞き取りした課題についてはしっかり答えを返すよう努められたい。

まちづくりに協力的か否かは地域性が出るところではあるが、その地域の特性に合わせた方法で、行政と住民の協働を推進されたい。

人権施策については、個々の意識によるところであるので、一朝一夕に変わるものではないが、引き続き啓発を続けていただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

地域コミュニティの希薄化が進んでいると感じておられ、課題視しておられることが窺えた。

産業総合支援課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

広陵町中小企業・小規模企業新商品開発補助金について、KoCo-Bizセンター長の意見書を不要とすることにより、意見書取得目的の1回限りの相談を排除し、単に新商品の既発だけで終わらせない制度に見直したとされているが、この対応によって事業趣旨が達成できているかについてはきちんと検証されたい。

KoCo-Bizの相談件数の増、高いリピート率は成果として把握できるが、負担金を徴収して相談可能とした葛城市、御所市、三宅町の事業者による相談増も危惧されることから、相談を必要とする事業者に対する円滑な運営について引き続き検討していただきたい。また満足度が高いと考える根拠がリピート率の高さとしていたることであり、満足度の的確な把握方法についても検討されたい。

「広陵くつした」のブランド化は、自社でブランド商品を製造する意欲のある事業者の育成などに継続して取り組まされたい。また、「くつした」、「いちご」の検索による広陵町ホームページの上位表示のため戦略的な情報発信に努められたい。

前年度の課題への対応

KoCo-Bizについて、今年度の実施計画策定期間終了後も継続展開を予定されているとのことであり、大和高田市とも情報共有の上計画を再構築して適切に対応されたい。

企業立地については、箸尾準工業地域の立地決定企業への対応を円滑に進めていただくとともに、新たな産業用地の創出について可能性調査を行った地域を中心にインフラや農地の状況について整理しながら進めていただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

スポーツ振興課（中央公民館）

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

中央公民館が無料で利用できることについて、ご存じない方も多と思われるので、周知方法について検討いただくとともに、今後、中央公民館の利用料について有料化（条例改正）する必要があるかどうかについても検討されたい。

前年度の課題への対応

7市町での施設の相互利用について、利用者の混乱が無いよう周知に努めていただきたい。

スポーツフェスティバルについて、子どもからお年寄りまでできるようなコンテンツを企画していただいております、どの年代も楽しんでいただけるような内容を意識されている様子が窺えた。
初年度ということで、手探りのところはあると思われるが、運動のきっかけづくりになるよう運営されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

団体補助金交付調書について、補助団体の支出の科目が誤っている部分があったので、補助団体の決算審査の際などには適切に執行管理されたい。

都市整備課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

公園の維持管理について、一方では緑を残してほしいとの住民要望もあるところではあるが、地域全体のニーズをしっかりと把握した上で維持管理の負担削減のため植栽の伐採も検討されたい。

寺戸地区産業用地について、道路を通すことで農地の減少を招くことになるため、農業振興課など、関係他課と密接に連携し、地元との協議のうえ進めていただきたい。

前年度の課題への対応

国費等の補助事業の執行については約50%が執行済みであるなど、概ね順調に事務執行されていることが窺えた。

引き続き、事業の遅延を生じないように管理されたい。

地元からの要望については、月に1回程度要望調整会議を行って優先順位をつけるようにされるなど、課員一丸となって適切に処理されていることが窺えた。

予算執行状況

概ね適切に執行されていた。

その他

年々、繰越事業は減っているとのことであるが、令和3年度においても繰越事業が多くあることから、引き続き、事業遅延のないよう執行管理されたい。

用地開発課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

企業誘致について、2次エントリーを経て全ての立地企業の決定が済み、順調に進んでいる様子が窺えた。

追加工事等で今後追加のコストが必要になってくるかもしれない。その際はコストや必要性を精査して、最大限の費用対効果が得られるよう、方策を検討されたい。

前年度の課題への対応

箸尾準工業地区用地交渉については、残り2名の地権者と交渉中である。全ての買収が済まなければ事業が進まないため、早期に買収を終えられるよう、引き続き事務を継続されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

箸尾準工業地区にかかる事業の遅れによって繰越が発生している。今後、事業の遅れが無いよう執行管理されたい。

秘書人事課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

コロナ禍で実施を控えていた行事の再開、昨年度から北葛城郡の町村会及び公平委員会の事務局を担当し、職員の措置要求も提起されたことによる事務量の増大を招いていることが窺える。

また、通常の人事に関する事務に加え、定年引上げに係る制度設計及び例規整備、会計年度任用職員の任期満了による採用事務、非常勤職員の地方公務員共済制度の適用拡大などによる事務量の増大が認められる。

前年度の課題への対応

会計年度任用職員の任期満了に伴う採用については、ほぼ対応済みであるが、定年延長に伴う例規整備については、3月議会への提案とならざるを得ない状況とのものであり、例規整備が完了しない中で対象職員への説明会を開催するとのことである。基幹となるところは早急に固め、対象職員への説明に支障をきたすようなことのないよう対応されたい。

ストレスを抱える職員、ストレスが原因となって病気休暇を取得する職員が見受けられることから、ストレスチェックや保健師、産業医による面談などの高ストレス者への対応、職場環境の改善に取り組まされたい。

予算執行状況

概ね適正に執行されていた。

なお、産業医の報酬についての認識誤りがあったとのことなので、次年度以降修正されたい。

その他

業務に習熟した職員が少なく、経験の浅い職員で構成されている課が見受けられる。若いうちに2～3年程度で幅広く業務を経験させてオールマイティーな職員を養成することも重要ではあるが、ゼネラリストとスペシャリスト双方を養成する複線型人事の考え方も参考にし、課ごとの人員配置のあり方について研究されたい。

他市町村との職員の相互派遣交流について、派遣者の派遣中止に伴う対応（後任派遣、費用負担等）が不明確であり、結果として今年度は本町において負担増となっている。一方の派遣職員が派遣中止となった場合の対応について整理し、派遣協定において明記すべきことを指摘した。

教育総務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

学校設備の突発的な修繕事務については学校が主体となって対応しているが、専門知識を有する教育総務課が積極的に主導して対応いただきたい。

GIGAスクール構想について、昨年度に引き続き推進委員会を開催して、活用方法等を学校間で定期的に情報交換されるなど、積極的な姿勢が窺えたが、端末の入替時の費用負担など、整理する必要がある部分があるので保護者とよく協議して進められたい。

前年度の課題への対応

校務支援システムの活用、部活動の外部指導員の導入など、教員の負担軽減に努めておられるが、保護者対応に追われているなど、教員の負担はまだ大きいとのことである。

教員が、授業のために時間をかけられるよう、引き続き教員の負担軽減に努められたい。

給食費多子世帯軽減について、住民基本台帳からの対象抽出については漏れる対象がいるため、様々な方法で周知に努めていただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

学校支援ボランティアに対し、慣れからか感謝の気持ちが感じられないという声を聞くので、改めて学校に指導されたい。

補助金につき、生徒数やPTA補助金の額に関わらず同額としているものがあり、今後適切な補助金支出について検討されたい。

学校支援課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

教員の働き方改革について、保護者対応が教員の大きな負担になっている。教員が子どもへの教育に注力できるよう、教員への支援も強化していただきたい。

スクールロイヤーの導入など、保護者対応のサポートとなる制度も今後導入を検討されており、教員・学校への支援について積極的な姿勢が窺えた。

前年度の課題への対応

特別な支援、配慮が必要な子どもや不登校の生徒が増えているため、学校との密な連携で、引き続き適切な指導・支援に努められたい。

通級指導についても、受ける生徒は増えている。小学校で通級指導を受けていた生徒の学習を継続する受け皿として、中学校での通級指導についても引き続き検討されたい。

放課後塾について、指導員の確保が課題となっている。子どもたちにとってより良いものとなるよう今後の運営について検討いただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

オーガニック給食について、野菜等の利用は、地産地消の観点から構成市町内産または県内産を優先していただきたい。

残食率について、香芝市内の中学校に比べ、広陵町内の中学校の残食率が高い。引き続きメニューの研究や学校への指導を続けていただき、残食減に努められたい。

各校の残食率の状況や、対策事例等も学校と積極的に共有されたい。

材料費の値上がりもあるが、適切な予算執行により順調に対応されていることが窺えた。

前年度の課題への対応

月に1度テーマメニュー（今年度は日本の郷土料理）を提供したり、構成市町産の食材を使ったメニューの提供など、栄養だけでなく食育の面を考慮して、メニュー形成において工夫されていることが窺えた。

生徒だけでなく、教員へのアンケートを実施するなど、幅広い目線の意見聴取を行って献立作りや食育の推進に反映させている姿勢が窺えた。

センター一括方式により、材料調達等費用面の恩恵は大きく、価格高騰にも今のところ対応できておられる。引き続き適切な予算執行に努められたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

総務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

押印見直しについて、特例規則で全般的な対応はできているものの、個別に割り当てた10課中2課しか対応できていないことについては、担当課として該当課に早急に対応すべきことを指示されたい。

文書管理システムの入替については、並行稼働期間を設けるなど計画的に執行し、電子決裁の採用などペーパーレス化にも取り組まれていることが窺える。

財政については、厳しい財政状況にあつて、中長期的な視野で予算編成する必要性を感じておられる。
予算査定を通じて十分に意見交換し、適切な財政運営を図られたい。

財産管理について、懸案となっていた借地の購入、遊休地の売却による管理費の節減など、適正な財産管理への対応がなされていることが窺える。

公印については、管理者において適切に管理されているが、管理者不在の場合の対応も明確にするなど一層厳格な管理をお願いしたい。

前年度の課題への対応

概ね順調な進捗が認められる。

来年度予定している財務会計システムの入替については、円滑に対応できるよう準備されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

地方自治法第199条第7項に基づく財政支援団体等監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

| 監査年月日 | 監査の対象 |
|------------|---------|
| 令和4年11月17日 | 社会福祉協議会 |

2 監査の場所

総合保健福祉会館

3 監査の範囲

令和3年度の財政援助に係る出納その他の事務執行状況

4 監査の方法

監査の対象とする財政援助団体より提出された監査資料に基づき、経営状況の把握・補助金執行状況及び会計処理上の責任体制は確立されているか等について監査を実施した。

5 監査の結果

社会福祉協議会においては、経理区分として「法人運営事業」「地域福祉事業」「町受託事業」「共同募金事業」「福祉資金貸付事業」を設け、町からの補助金は人件費補助として「法人運営事業」「地域福祉事業」に充てているとのことである。

この人件費の扱いにつき、「町受託事業」における人件費支出の対象者が「法人運営事業」「地域福祉事業」に關与した際にはその關与にかかる部分について按分して「町受託事業」「法人運営事業」「地域福祉事業」に計上して精算しているとのことであるが、補助金の精算と決算書類において額の不一致が見られた。今後、決算確定時期を考慮した補助金精算のあり方について町所管課とも協議されたい。

その他、事業執行面においては、前回同様の課題ではあるが、健全な経営体制の構築に苦慮されており、町の関係課とも情報共有を図りながら、協議会活動に積極的に取り組んでいただきたい。

また、地域間での協力体制が希薄となっている現代にあつて、その部分を補う登録ボランティアの不足、民生委員、地域福祉委員のなり手不足や地域間の格差などにより困難を極めている様子も窺える。

町民ニーズを積極的に汲み取れる体制強化に取り組んでいただきたい。